



新板  
 宇治川  
 友戸海  
 魁  
 對  
 重  
 四之卷





1690

Handwritten mark or signature in the top right corner.

江戸  
名  
戸  
海

魁  
対  
五

四  
之  
巻

目  
録

才  
一

聲  
友  
を  
あ  
ら  
ら  
る  
津  
の  
書  
内

母の河津を身みむ垣やきり  
ふりてまゝ福祥の命の仇  
わいてる比企の友  
あはれなるは企の友  
あはれなるは企の友



才二

Handwritten mark or signature at the bottom right.



才二

おては二刀きりて依木の謀

るおて海をけりわら源平の合戦

捕く魂乃結を志ありちるむ母の

歎と武勇とみぐ楊梅屋の浦住居

才三

作りわや船を魚の磯海の新入

親の歌をうけのやふせれつき

るふありせう秘さ刀乃秘さだ

とぎ出奇縁の魚のこはぬ者片母親

① 舞友と知らぐる清洲の事

相も二の石れ合戦は平入んて舞は天よひま目新地を

接けり布にさひしうぬ美経の運流は打中れお家教に

ぬてさく小歌はあま海は流ゆ中にも安住を分と初なり

舞ののこもものせなりて故流は流るるお代末ゆきの流

幸から梅系ほろ常事い平氏のたむかはれこれれ兜も

打落されて大まのの流とぬてらるるこ結はしりるを合也

ひらふのそいほろ切又ちらうあつ車切あてもいをばら

らまのの多雨とこなまうれてこなぬいこ度の無は

く事家の一方と打ちつる歌集方よ鬼神さうとむられたれば

州うぬくあより下し舞れるは空にの眼はさうなる梅花を象









平三郎  
初子郎

とまごころ

おのり

おのりの  
おのり

おのりの  
おのりの

おのりの  
おのりの



平三郎  
おのりの

おのりの  
おのりの

おのりの  
おのりの

おのりの  
おのりの



















































